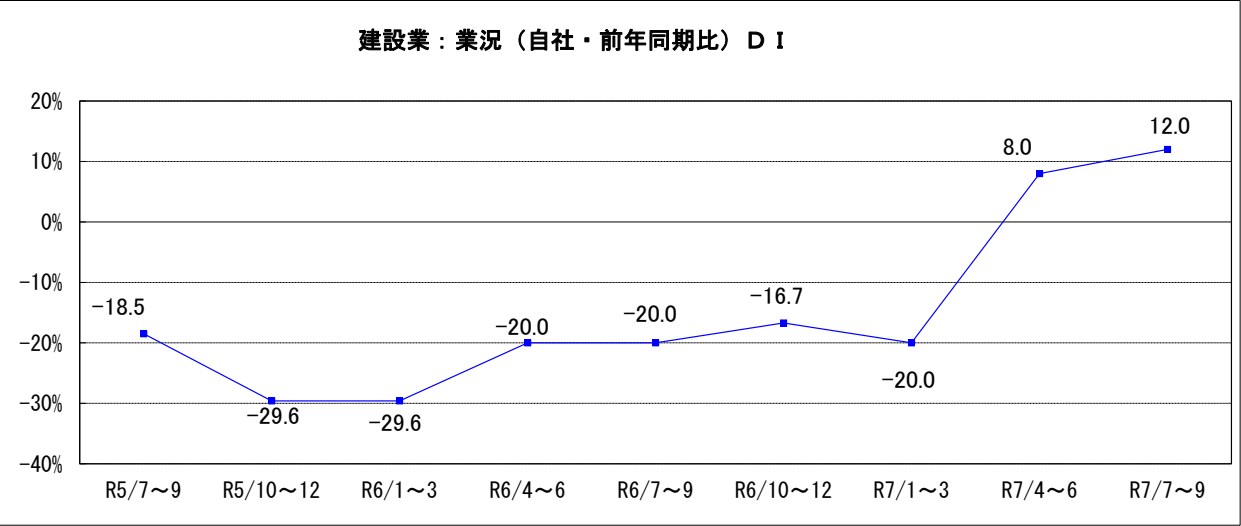


3. 建設業の動向

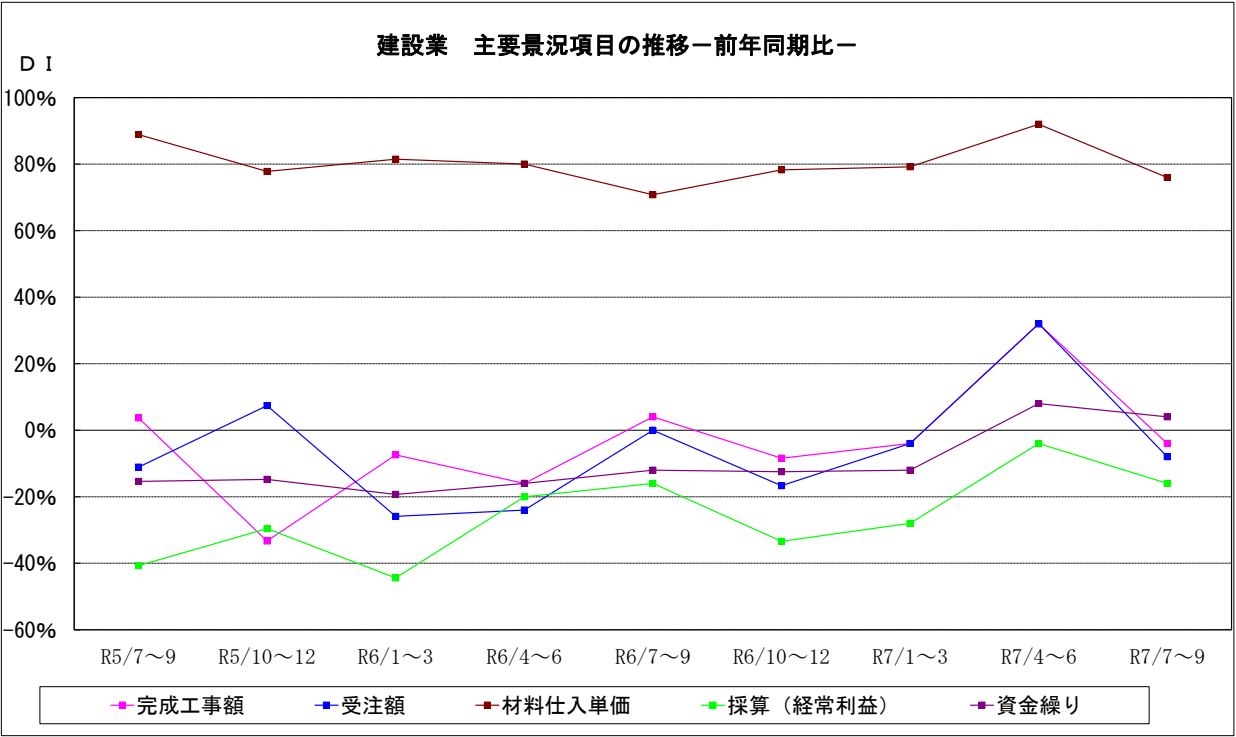
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は12.0。前期の8.0から4.0ポイント上昇した。
来期の見通しは4.0の予想である。



建設業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・％）

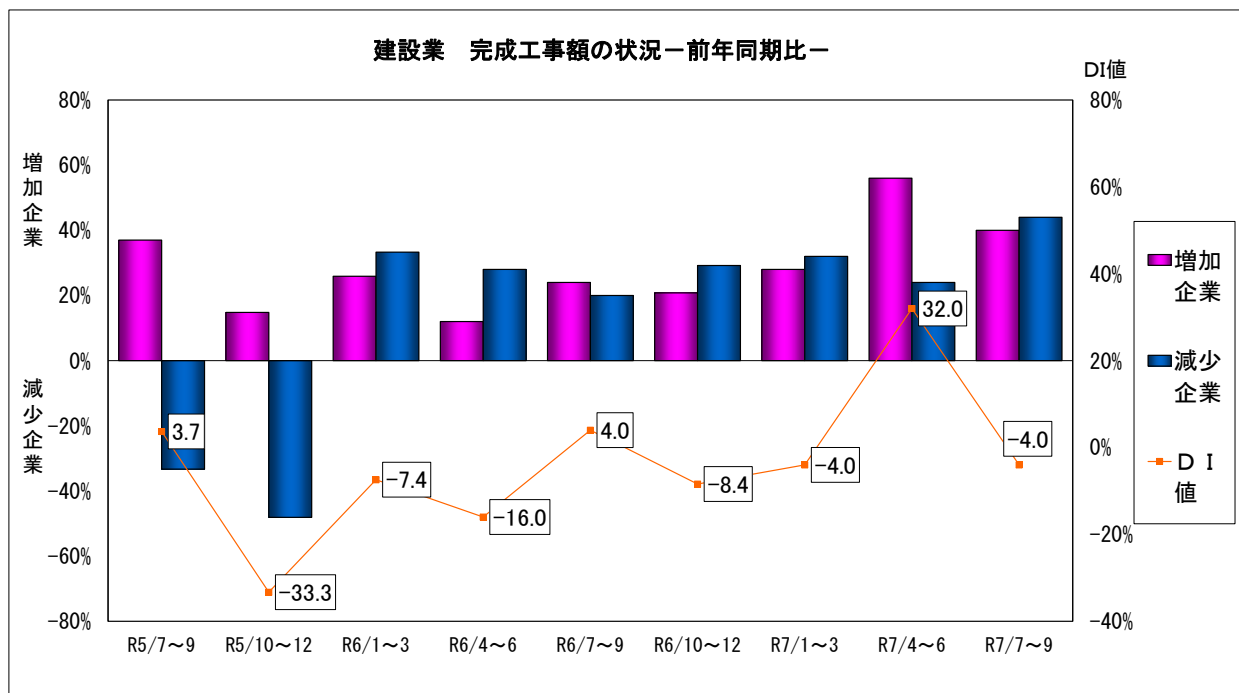
	前々期 (R7年1月～3月)	前期(A) (R7年4月～6月)	今期(B) (R7年7月～9月)	今期と前期の差 (B)-(A)	来期見通し
完成工事額	-8.4	32.0	-4.0	-36.0	12.0
受注額	-16.7	32.0	-8.0	-40.0	4.0
材料仕入単価	78.3	92.0	76.0	-16.0	76.0
採算（経常利益）	-33.4	-4.0	-16.0	-12.0	-4.0
資金繰り	-12.5	8.0	4.0	-4.0	0.0



(2) 主要項目の概況

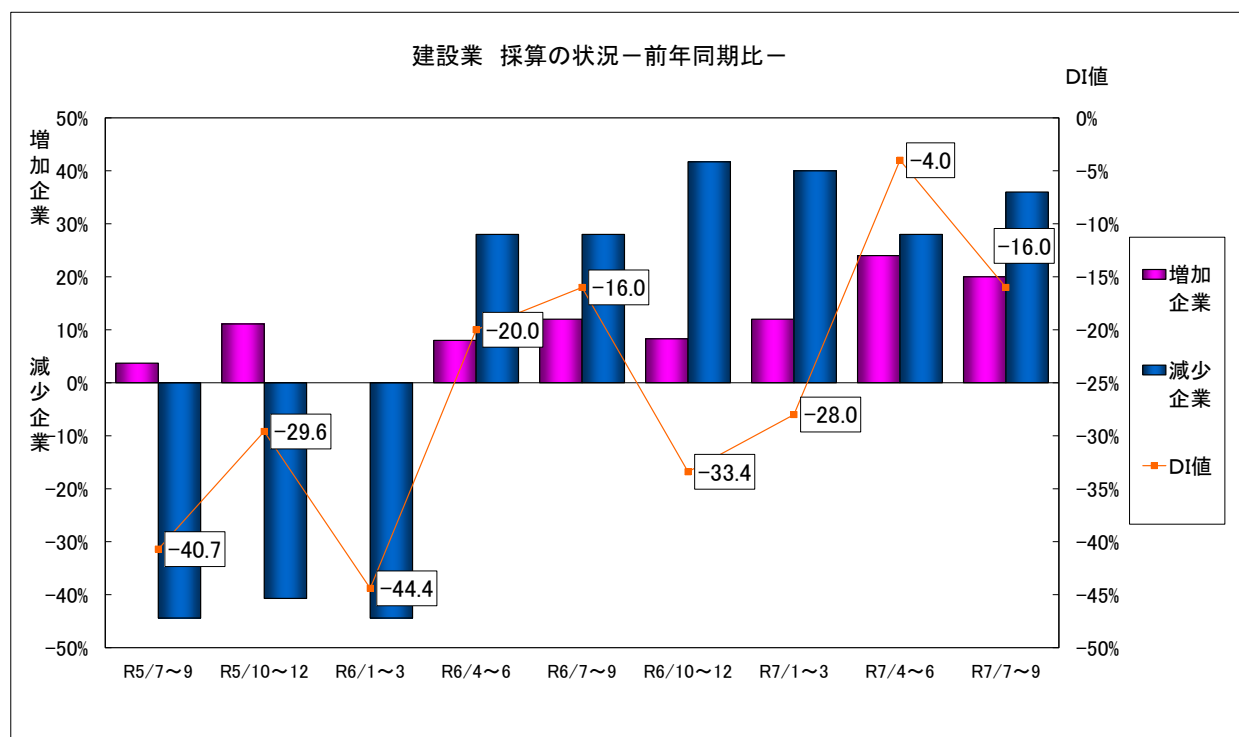
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事（請負工事）額DI値は-4.0。前期32.0から36.0ポイント低下した。
来季の見通しは12.0の予想である。



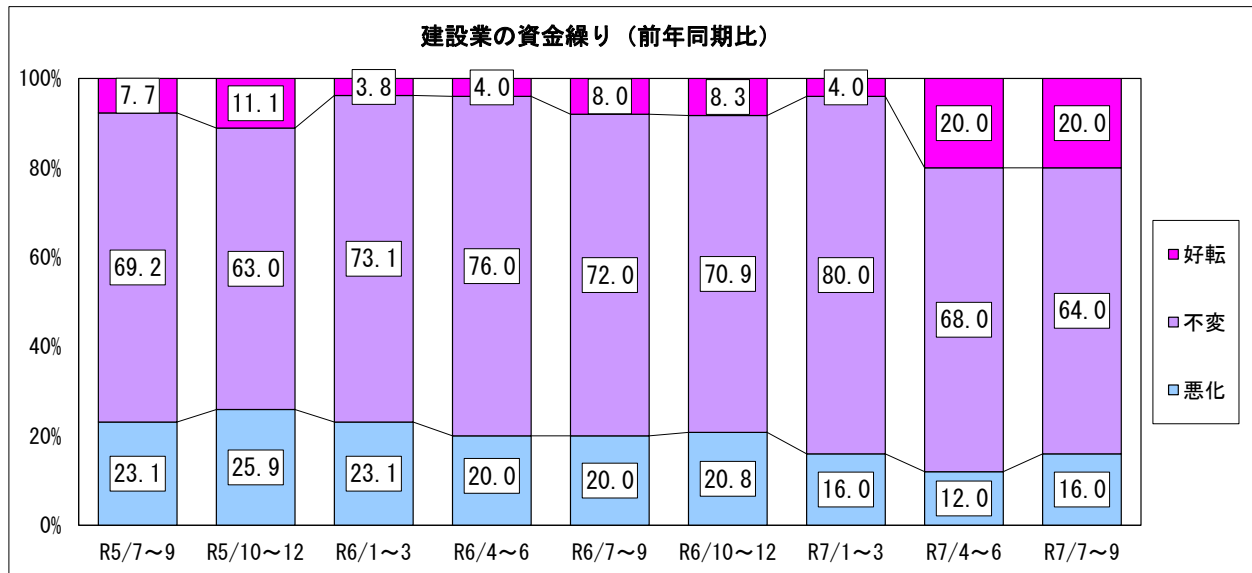
②採算（前年同期比）

今期の採算（経常利益）DI値は-16.0。前期の-4.0から12.0ポイント低下した。
来季の見通しは-4.0の予想である。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は4.0。前期の8.0から4.0ポイント低下した。
来季の見通しは0.0の予想である。

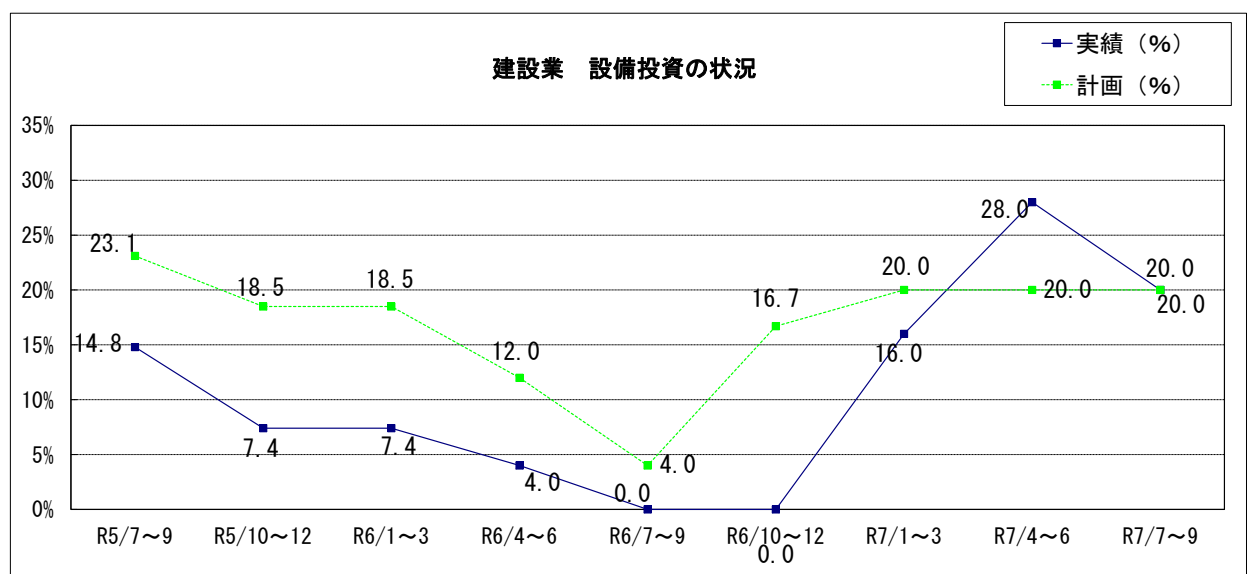


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今 期 実 施	5 20.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	20 80.0
来 期 計 画	5 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	20 80.0

今期設備投資を実施した企業は5社(20.0%)。前期(令和7年4月～6月)の実施企業7社(28.0%)
来期は5社(20.0%)が新規設備投資を予定している。



⑤経営上の問題点

今期、建設業が経営上の問題点として一位～三位にあげる項目は

- ・「材料価格の上昇」 (前期71.4%→今期65.0%)
- ・「人件費の増加」 (前期38.1%→今期45.0%)
- ・「材料費・人件費以外の経費の増加」 (前期28.6%→今期25.0%) となっている。

